



上北町
荒川尚美 さん

私のふるさは、群馬県前橋市です。群馬県には県民に親しまれている「上毛かるた」という、群馬県の人物、地理、風物などが読まれている郷土かるたがあります。その中に「つる舞う形の群馬県」という読み札があり、言葉どおり群馬県は鶴が舞っているような形をしています。

ふるさとの前橋市は県の中央部よりやや南に位置し「日本近代詩の父」と称される詩人・萩原朔太郎の生まれ故郷でもあります。そんな前橋市は、赤城山の麓に広がる豊かな森林、市内を流れる利根川や広瀬川などの多くの河川があり、自然に恵まれながらも都心部へのアクセスが良好で、とても住みやすい地域です。

私の生まれ育った場所は、市の中心部から車で30分程の郊外にあります。両親は地域で盛んな養豚業を営んでおり、毎日休むことなく働いていました。幼少期に両親の働く姿を見ながら姉妹で養豚場をくまなく散策し遊んでいた日々は、とても懐かしい思い出です。

結婚を機に約7年前に福島県に移り住み、縁あって須賀川で暮らしています。今は、子育てと仕事の両立のため、慌ただしくも充実した毎日を送っています。須賀川でもたくさんの思い出を作って、家族で築く第二のふるさとにしていきたいです。



群馬県
前橋市



サークルとわたし



西袋囲碁愛好会

代表者 佐藤 恒夫
 会員 20人
 発足年月 平成3年5月
 連絡先 ☎090(9009)8874
 活動日 毎週土曜日
 活動場所 西袋コミュニティセンター

私たち「西袋囲碁愛好会」は、平成3年5月に結成し、毎週土曜日に会員の皆さんと囲碁を通じて和気あいあいと活動しています。活動内容は週1回の例会と年4~5回の総当たり制の大会です。勝敗にはあまりこだわらず、みんなで楽しく笑いながら対局できる幸せを実感しています。

私も入会した頃は、囲碁の基本や定石も知りませんでしたが、最近では上段者からの指導で、少しずつ覚えて昇級できるようになり、囲碁の楽しさを再認識しました。

囲碁は頭の体操となり、碁石を持って打つことから指先の運動にもよく、健康にも効果があると思います。

現在、会員募集中ですので、初心者・経験者、男女問わず、気楽にご入会ください。また、囲碁に興味のある方の見学も大歓迎です。



tette 情報

tetteでは、市民の皆さんが生涯にわたり学べるよう様々な世代に向けた講座や各種イベント、誰でも楽しむことができる行事などを行っています。詳しくは、tetteホームページやInstagramをご覧ください。



tetteスクールなど

生涯学習スポーツ課 ☎(88)9171

tetteスクール「YOGA 代謝UPヨガ」

2月18日(日) 午前10時~11時30分
 ※事前申込(先着15人)

tetteスクールシニア「はじめてのスマホ体験講座」

2月27日(火)、3月5日(火) 午前10時~11時30分
 ※事前申込(各回先着15人)

イベント

市民協働推進課 ☎(94)4431

高校生合同文化祭「tetteで青春」

2月25日(日) 午前10時30分~11時、午後2時~2時30分



こどもセンターだより

こどもセンター ☎(76)6687

親子イベント「誕生カード作り」

2月14日(水) 午前9時~11時30分
 ※事前申込(先着6組)

子育て支援講座「ベビーマッサージ」

2月15日(木) 午前10時~11時 ※事前申込(先着6組)

親子イベント「親子でうたあそび」

2月21日(水) 午前10時30分~11時

子育て支援講座「子育てみんなのおしゃべり会」

3月7日(木) 午前10時~11時30分 ※事前申込(先着6組)

図書館だより

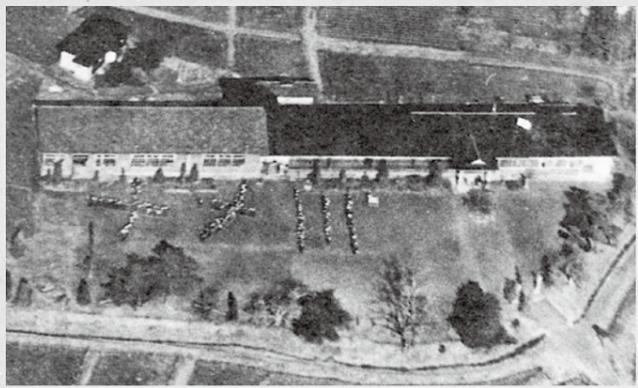
中央図書館 ☎(75)3309

おひざにだっこのおはなし広場(おはなしの会ラ・ポム)

2月21日(水) 午前11時 ※自由参加(定員30人)

こども読み聞かせ会(読み聞かせの会ポケット)

2月24日(土)、3月9日(土) 午後2時30分
 ※自由参加(定員20人)



昭和30年頃の滑川小学校(現在の滑川公民館)

ふるさとの遺産

—学校の今昔— No.354

柏城小学校 その1
 滑川小学校
 (昭和30年頃)

柏城小学校の歴史は明治8年に遡ります。当時の滑川村と森宿村、仁井田村の閣下が合同で滑川村の法光寺を借り受け、滑川小学校として学校を創設しました。

その後、明治30年に現在の滑川公民館の場所に新築移転しますが、児童数の増加に伴い3回の増築が行われました。また、大正7年には就学出席優良校に表彰され、教育の充実が一層図られました。

一方で、滑川小学校は多くの苦勞や困難があり、昭和15年の改築では、上棟式の翌日に強風で全てが倒壊し、再度建て直す事態に見舞われました。

このような不運などに対し、地元の皆さんは遊具やピアノ、テレビなどを寄贈したり、校舎の新増築や校庭の拡張に積極的に協力したりするなど、学校を支えました。

博物館 ☎(75)3239